

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。



ロボットの設計製作を通じ、好奇心や探究心を育てるロボカップジュニア。小金中学校科学部は千葉県大会・関東大会で優勝し、全国大会でも優秀な成績を収め、メキシコで行われた世界大会ダンス部門（セカンドリ）で「ベストユージングセンサーズ賞」を受賞しました。6月29日には、市議会本会議場で結果報告がありました。

小金中学校科学部 ロボカップジュニア 世界大会に出場



5月臨時会

平成24年5月臨時会を5月10日に開催しました。

今臨時会では、職員の公益法人等への派遣に関する条例の一部改正など、専決処分の議案2件を承認しました。続いて、市立病院建設検討特別委員会を開催し、病院の耐震補強工事にかかる補正予算2件について審査を行った後、本会議において可決しました。（2面に審議結果を掲載）

6月定例会

平成24年6月定例会を6月13日から6月29日まで開催しました。

今定例会では、市長から提出された議案10件と、市民の方々から提出された陳情4件（2件は継続審査）を、それぞれの委員会でも審査しました。

最終日には、これらの案件のほか、議員提出議案が上程され、採決しました。

（2面に審議結果を掲載）

なお、35人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。

松戸市議会 放射能対策協議会より

松戸市議会は、平成24年4月9日に「松戸市議会放射能対策協議会」を設置しました。

市の放射能対策の実施計画等に関する報告を受け、議会として検討・協議することを目的としています。先日、市が策定した「放射能対策総合計画」に対しても、市として積極的に取り組むべき事項等の意見を申し入れました。

今後も、市民の皆様が安全に安心して生活しているような松戸市であるために、市議会としても研鑽してまいります。

主な内容

- P 2 5月臨時会・6月定例会の議案等の審議結果
- P 3 常任委員会・特別委員会の審査から
- P 4～P 7 市政に関する一般質問
- P 8 市議会からのお知らせ・編集の窓 ほか

議会だよりをリニューアルしました！
紙面を増やし、毎号フルカラー8ページになります。

5月臨時会・6月定例会 審議結果

【会派名の略称】 公明…公明党 松政ク…松政クラブ 市民ク…市民クラブ 共産…日本共産党
 絆…絆（無所属の会・みんな） 民・社…民主・社民クラブ
 ※会派の構成については8面に掲載

※議長は採決に加わっておりません。

表の見方

○ 会派の全員が同じ賛否

○3 ×2 会派内で賛否が分かれた場合、数字は人数
 (会派の賛否は人数の多いほう)

■可決（承認・同意）された案件 ○=賛成 ×=反対

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	公明 10人	松政ク 8人	市民ク 8人	共産 5人	絆 5人	市民力 4人	民・社 3人	無所属 1人
5月臨時会											
市長提出議案											
第1号	専決処分の報告及び承認について (松戸市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部を改正する条例の制定について) 社会法人松戸市シルバー人材センターが公益社団法人に、財団法人松戸市文化振興財団が公益財団法人に移行することに伴い、当該法人の名称を変更する。	—	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	専決処分の報告及び承認について (松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定について) 地方税法の改正に伴い、用途変更宅地に対して課する固定資産税等の特例に関する経過措置の規定に基づき、引き続き平成26年度まで従前の課税標準額の算出方法を採用する。	—	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成24年度松戸市一般会計補正予算（第1回） 市立病院等に耐震補強工事を行うための出資金を計上する。	病院特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成24年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回） 病院事業における耐震対策について、市立病院等に補強工事を行うための経費を計上する。	病院特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会											
市長提出議案											
第5号	平成24年度松戸市一般会計補正予算（第2回） 松戸市立松戸高等学校生徒の負傷事故について和解したため、これに対する損害賠償金を計上する。	教育経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定について 「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」の制定により、個人市民税の均等割の税率の特例を定めるとともに、地方税法改正に伴う下水道除害施設に係る固定資産税の課税標準の特例割合を定める等所要の規定を整備する。	総務財務	可決	○	○	○	×	○	○	○	○
第7号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について 指定管理者に管理を行わせることができる施設を追加する。	教育経済	可決	○	○	○	×	○ ³ × ²	○	×	×
第8号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 電気自動車に係る急速充電設備を設置する際の位置、構造及び管理に関する基準を定めるとともに、炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が危険物に追加されたことに伴い、当該危険物を貯蔵し、又は取り扱う場所の位置、構造及び設備に係る技術上の基準等に関する経過措置を設ける。	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正により、外国人住民が住民基本台帳の適用対象に加えられたことに伴い、外国人住民に係る規定の整備等を行う。	教育経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	契約の締結について（和名ヶ谷クリーンセンター基幹改良工事） 老朽化したごみ焼却施設の機能を回復させ、施設の耐用年数の延ばし、ごみ焼却に伴い発生するエネルギーの利用を拡大させ、発電能力を増強する。	教育経済	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	動産の購入について（消防救急デジタル無線装置） 平成25年4月から、千葉県域で実施する消防救急無線のデジタル化に伴い、消防救急デジタル無線装置を購入し、通信の確保を図る。	総務財務	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	権利の放棄について 平成12年4月11日に発覚した公金横領着服に係る損害賠償金債権は、債務者であった元職員の死亡及び相続人全員の相続放棄に伴い、徴収できる見込みが全くないことから、当該債権の権利を放棄する。	総務財務	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	和解及び損害賠償の額の決定について 平成17年12月19日に発生した突風で飛ばされたテントの直撃による、松戸市立松戸高等学校生徒の負傷事故について和解し、これに対する損害賠償の額を決定する。	教育経済	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	市道路線の廃止及び認定について 松戸市紙敷土地区画整理事業の換地処分に伴う市道路線の整備を図る。	都市整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案											
第5号	電気料金の値上げを認可しないよう求める意見書	—	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
第6号	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	—	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第7号	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	—	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	原子力発電所の再稼働検討に当たり慎重な判断を求める意見書	—	可決	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 否決（不採択）された案件・継続審査となった案件

議員提出議案					陳情				
番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第1号	国民の目耳口を封じる秘密保全法案に反対する意見書	—	否決	多数意見	第1号	市議会に「放射能対策特別委員会」の設置を求める陳情	議会運営	不採択	全会一致
第2号	消費税増税法案の撤回を求める意見書	—	否決	多数意見	第3号	東海第二原発の廃炉を求める意見書の提出を求める陳情	総務財務	不採択	多数意見
第3号	原発の再稼働を認めないよう求める意見書	—	否決	多数意見	平成23年度第12号	千駄堀地区への新市立病院建設反対の陳情	病院特別	—	継続審査
第4号	人権侵害につながる生活保護制度の改悪に反対する意見書	—	否決	多数意見	平成23年度第14号	紙敷地区への新市立病院建設の早期実現を求める陳情	病院特別	—	継続審査

意見書4件提出

地方自治法第99条の規定により、国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 電気料金の値上げを認可しないよう求める意見書
- 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- 原子力発電所の再稼働検討に当たり慎重な判断を求める意見書

常任委員会・特別委員会の審査から

6月22・25・26日および27日に各常任委員会・特別委員会が開催され、提出された議案および陳情を審査しました。ここでは、その審査の中での質疑・答弁（要点）の一部を掲載します。（審議結果等は、2面に掲載してあります。）

総務財務 常任委員会

議案第6号

松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

質 個人市民税が増額となるが、納税義務者数と総額は、

答 平成26年度から10年間、個人市民税の均等割が500円増額となる。納税義務者数は約23万5千人、総額は年間約1億1千750万円である。

議案第11号

動産の購入について（消防救急デジタル無線装置）

●主な質疑

質 使用方法等についての研修はあるのか。

答 マニュアルを作成し、11月から3月までの間に研修会を実施する予定である。

議案第12号

権利の放棄について

●主な質疑

質 過去の不祥事の反省を、今後どのように生かすか。

答 過去を含め、再発防止のために、職員間で常に共通認識をもって取り組む。

教育経済 常任委員会

議案第7号

松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

質 今回、新たに6つの施設に指定管理者制度を導入することによる、施設利用者や

市のメリットは何か。また、期待できる効果と、今までと何が異なるのかを伺う。

答 メリットとしては、人件費等のコスト削減、サービスの向上、民間活力導入による経済の振興と活性化が考えられる。すでに導入している3つの施設では、空き時間を見計らって、自主事業等を行うことで、市民サービスの向上を図っている。

各施設の利用方法等については条例で定めているが、今回、指定管理者を選考するに当たり、新たな提案がなされれば、時間の延長も含めて検討していきたい。

質 6つの施設が同じ指定管理者になってしまふ可能性もあるが、問題等はないか。

答 指定管理者導入後も、市は指定管理者と定例会を開催するなどして、実施内容を確認する。仮に市民サービスの欠如があれば、市としても積極的に指導していく。

議案第10号

契約の締結について（和名ケ谷クリーンセンター基幹改良工事）

●主な質疑

質 ①価格の正当性について、事業費の積算はどのように行ったのか。

②特許以外の個所を分離発注する検討はしたか。

③一括発注の判断基準は。〔社〕全国都市清掃会議の積算要領に基づいて行った。

④分離発注も検討したが、請負企業間の工程の調整、責任の所在および性能保証の捉

え方などが問題であった。③国の交付金対象工事であることなどをトータルで考え、一括発注とした。

出された。しかし、判断するには資料が不足していることから、あらためて委員会として資料を要求し、引き続き議論を行うことになった。

なお、継続審査となっていた陳情2件は、関連があることから、12月・3月定例会に続き、継続審査となった。

議案第14号

市道路線の廃止及び認定について

●主な質疑

質 今回の市道26路線の廃止および4路線の認定は、平成24年2月24日に紙敷土地区画整理事業が換地処分を迎えたことに伴い、市道路線の整備を行うためとのことである。

現在、すでに従前の道路の形態はないが、現状への移行に当たり、地元の方々から要望等はなかったか。

答 区画整理事業着手前の従前道路は、道路機能が整ったものではなかった。区画整理事業により、区画道路として整備され、通行しやすく、安全性も向上したことから、地元の方々も了解されている。

本特別委員会では、千駄堀地区に新病院建設が可能か否かの意見整理を行った。

候補地の判断材料とするために、3月定例会で可決した補正予算で測量等の調査を行い、その結果、執行部より本委員会へ「松戸市新病院基本計画調査業務急性期病院検討書」および「新病院計画用地測量等業務委託」の報告書が提

出された。しかし、判断するには資料が不足していることから、あらためて委員会として資料を要求し、引き続き議論を行うことになった。

なお、継続審査となっていた陳情2件は、関連があることから、12月・3月定例会に続き、継続審査となった。

議案第14号

市道路線の廃止及び認定について

●主な質疑

質 ①今回提出された検討書の整備計画では、新病院の規模や診療科目ごとの病床数は、どのようになっているか。

②建設事業費については、国立病院機構の病院建築標準仕様を基に算出することであった。しかし、今回提出された工事単価は、大幅に削減されているが、品質等は確保されるのか。

③概算事業費は、市民の方に誤解を与えないためにも、周辺の道路整備等を含めた総額で示すべきと考えるが、見解を伺う。

答 ①規模は、延床面積4万5千㎡、600床で検討をしている。診療科目ごとの病床数は、基本的に現在の市立病院と同程度と考えている。

②建設事業費は、国立病院機構の病院建築標準仕様を基に算出したものである。建設にあたっては、公募型プロポーザルによるデザイン・ビルド方式とすることで、品質等は確保されると考えている。

③概算事業費については、新病院建設で生じる周辺の道路整備等を含め、必要な事業費の表示方法を工夫し、市民の方に分かりやすくお知らせできるように検討していきたい。

行政視察 の報告

各常任委員会では、市長などから提出された案件を審査するだけでなく、それぞれの所管事務の中から市政の課題を抽出して、閉会中も継続的に委員会を開催しています。

本年も関係団体への現地視察や意見交換などを行い、市民福祉の向上につながる政策提言への研究を進めています。

〔総務財務常任委員会〕

平成24年3月27日(火)・28日(水) 〇3・11の災害対応および社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの運営について

〔健康福祉常任委員会〕

〔宮城県名取市〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕

〔健康福祉常任委員会〕



酒田市の取り組みを学ぶ



津波の爪痕が残る開上地区



秩父市長を囲んで



先進事例を参考に

平成24年5月15日(火) 〇特色ある街コン（所コン）と中心市街地活性化について

〔埼玉県所沢市〕

〇アニメコンテンツにおける、アニメーションの可能性とまちおこし（埼玉県秩父市）

平成24年5月16日(水) 〇手づくり市の魅力について

〔東京都調布市〕

〇SOHO・CITYみたか構想―SOHOの課題について

〔東京都三鷹市〕

〔都市整備常任委員会〕

平成24年4月18日(水) 〇公共施設白書について（作成の経緯と白書の有効活用）

〇市街地活性化の基盤整備について（JR吉祥寺駅改良と周辺のみちづくり、公共施設白書と市街地活性化の基盤整備）

〔東京都武蔵野市〕

一般質問

6月定例会では、6月14日・15日および18日・19日・20日の5日間にわたり、35人の議員が一般質問をしました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長、副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

老朽化した橋の対策について

公明党 飯箸 公明

問 市が管理する337の橋では老朽化が進んでいる。幹線道路など重要な橋については、落橋防止工事を完了したとのことだが、今後の対策を伺う。

答 橋梁の老朽化は、国や自治体の重大な課題である。平成19

年、国は従来の事後的修繕から政策転換し、予防的な修繕等による橋の長寿命化対策に対する補助制度を定めた。これを受け、市は全橋梁の現地調査・点検を行ってきた。この結果を基に、今年度は発生している損傷を抑える短期対策や、費用の集中を抑制する中長期対策を盛り込んだ「松戸市橋梁長寿命化修繕計画」を策定する。来年度には、修繕の優先性が高いものから、実施設計や修繕工事に着手したい。

通学路の安全確保について

松政クラブ 石井 勇

問 子ども達を交通事故から守るために、道路幅員の狭い通学路の安全確保と対策を伺う。

答 通学路の指定は、児童の安全確保を第一に考慮し、児童の居住分布状況や防犯上の視点を視野に入れて設定している。

これまで地域、PTA等の見守りやパトロール活動を通して道路環境の改善要望や登下校の様子を伺い、必要な対策を講じてきた。他県での通学路上の事故を受け、本市も危険と思われる個所の再調査を開始し、現在取りまとめを行っている。今後は、その内容を精査して関係機関と現地調査等を行い、緊急性や優先順位を考慮し、迅速な対応をしていきたい。

介護保険サービスの住宅改修について

公明党 織原 正幸

問 介護保険サービスのうち、分譲マンションの共用部分である非常階段の改修工事を、支給対象とする考えは。

答 介護保険の住宅改修費は、国が定める種類の住宅改修を行った場合に支給される制度であ

る。改修費用の上限は20万円であり、1割が自己負担となる。分譲マンションの廊下などの共用部分について、国は、マンションの管理規程や他の区分所有者の同意があれば、共用部分の住宅改修も支給対象とすることができるとしている。

本市の一般的な対応は、占用部分に対しての助成である。共用部分は、一定の条件を満たしていれば支給対象となるため、個々の状況で対応していく。

松戸市政において文化とは何ですか

無所属 中田 京

問 平成23年度に文化の香りのする街構築プロジェクトが開始したとのことだが、プロジェクトの目指すものとは何か。文化の香りのする街を構築して、何を実現したいのか。

答 プロジェクトでは、市の文化振興施策について、新たに「歴史・文化の視点から地域の活力や魅力を高める」とし、文化資源を生かすことや文化芸術による地域活性化の取り組みを考えている。今年度には、市民意識調査や市民会議を基に「(仮称)松戸市文化芸術振興基本方針」をまとめた。生涯教育の視点からも「地域で生まれ、学び、社会で生活したことが、地域社会に還元できてよかったと実感できるまち」を目指したい。

農業の振興について

松政クラブ 桜井 秀三

問 松戸ブランドとして、果物野菜の高品質化を図って、ブランド名を高める方策はないか伺う。

答 農産物のブランド化については、付加価値の創出や高品質化が農家の収益の増大につなが

り、農業経営の安定をもたらす大変有効な方策である。平成15年より「松戸市農産物ブランド化推進協議会」を立ち上げ、さまざまな活動を行っている。現在は、新たなブランド化農作物を検討しているところである。本市にある千葉大園芸学部存在等は、大きな強みであるので、推進協議会を核として、生産者や関係団体と連携を図りながら、より一層協力していく考えである。

市内の水道の給水状況は

公明党 伊東 英一

問 水道の給水状況と、5月19日にホルムアルデヒドが検出された問題で、本市が断水しなかった理由を伺う。

答 本市の上水道は、市営水道と県営水道の2つの事業体に分

市営は、小金地区と常盤平地区に給水している。県営は、大きく3つの区域に分けられ、国道6号線付近西側が「ちば野菊の里浄水場」、東側は「栗山浄水場」から「松戸給水場」を経由する。六実地区の一部と串崎新田は「沼南給水場」となっている。

断水しなかった理由は、浄水場等で異なるが、浄水処理能力を限界まで上げて運転し、高度浄水処理を行い、貯留した水を減圧して配水したこと等である。

生活保護費の現状と課題について

松政クラブ 木村 みね子

問 生活保護費の増加要因は。また、他市との比較において松戸市の現状と取り組みを伺う。

答 平成24年4月1日で、生活保護費受給者の状況は、高齢者世帯40・7%、母子世帯8・5%、傷病・障害世帯35・4%、

就労可能な方を含むその他世帯が15・4%となり、リーマンショック以降、その他世帯が増加している。また、支給割合の高い医療費扶助が23年度39・8%で、近隣市もこれと同様に扶助費全体の約4割を占めている。対策としては、就労支援プログラムによる稼働能力を有する被保険者の自立促進、レセプト点検の強化や後発医薬品(ジェネリック)の利用促進等を図り、対応に努めている。

公共施設におけるPPS切り替えについて

民主・社民クラブ 関根 ジロー

問 本市の公共施設におけるPPS(特定規模電気事業者)への切り替えについて、進捗よく状況はどうか。

答 競輪事業は、昨年8月にPPSに切り替えた。東京電力から購入した場合と比較すると、

8カ月で約10%の電気料金の削減効果を得た。市役所本庁舎については、今年度は事業者の供給電力不足による入札参加辞退のため実施できなかった。本庁舎以外の公共施設についても導入に向けて、順次積極的に検討しているが、施設ごとの契約条件等があり、導入には至っていない。今後、競輪事業以外の公共施設についても、引き続き、PPSへの切り替えに向け、事業者との協議を続けていく。

待機児童解消の 新たな施策を

民主・社民クラブ
安藤 淳子

問 この春、新規に2か所の保育所を開設したが、潜在的な保育需要のため、いまだ多数の待機児童がいる。市として、新たな施策の検討はしているのか。

答 本市の待機児童数は、平成23年度が94人、24年度は87人と

なっている。

待機児童解消の対策として、認可保育所の創設に重点を置いている。20年度から24年度現在までに4園を開設し、本年9月にも松戸駅西口に1園、25年度は建替えを含め2園の開設を予定している。

今後は、認可保育所の創設に加え、民間保育所等の協力を得て、グループ型の保育ママ事業なども検討し、保育の量的拡大に努めていく考えである。

県の監査で指摘された NPO団体について

松政クラブ
杉山 由祥

問 平成23年12月議会で質問したNPO団体へのその後の対応と、新たに発覚した問題とは何か。NPO団体と市の協働のあり方をどのように考えるか。

答 21年度インフォメーション事業に係る補助金は、本年3月

に県へ返還した。新たに発覚した問題は、22年度に実施した緊急雇用創出事業について、県の監査で厳しい指摘を受けたことである。また、同時期に実施した関連事業について、精査を行い、今後の対応を協議している。

なお、NPO法人など市民活動団体との協働は、24年4月から第2次協働推進計画に沿って進めている。支援制度などは、協働のまちづくり協議会等で、必要に応じて見直していく。

市民センターの バリアフリー化について

日本共産党
山口 正子

問 市内に17カ所ある市民センターは、耐震改修工事と併せて1年に1カ所バリアフリー化が進められているが、エレベーターの設置状況と今後の予定は。

答 平成23年度までに馬橋、小金原、六美、小金市民センター

のエレベーター設置を含むバリアフリー化が完了している。今年度は稔台、五香市民センターで工事を行う。また、松飛台、東部市民センターの設計を予定し、順次整備を進めていきたい。

施設の構造上、エレベーター設置やバリアフリー化が難しい馬橋東、市民センター、さらに工事・設計を行っていない残りの9カ所も構造上の問題を抱えるが、関係部署と協議し、順次進めていきたい。

市立松戸高校の 部活動支援について

公明党
高橋 伸之

問 将来の人間形成に大きな影響を与え、青春の舞台である高校での部活動。市立松戸高校での現状と今後の取り組みは。

答 近年、市立松戸高校では、独自に部活動講師を採用している。その結果、部活動加入率は

年々上昇し、平成23年度末に実施された、生徒による学校評価アンケートでは「部活動は活発である」との回答が約95%を占めた。専門的な指導者の確保は、部活動への魅力を高め、競技層の広がりや活力を生んだ。また、ナイター照明を始め、充実した設備はモチベーションを高める大切な要素であり、生徒達の安全のためにも、細やかなメンテナンスを行うなど、引き続き、措置を講じていきたい。

視覚障がい者への バリアフリー対策を

公明党
城所 正美

問 公共交通を利用して新京成バス「牧の原団地」停留所から健康福祉会館（ふれあい22）に行くまでの歩道を、視覚障がい者のために整備し、バリアフリー化できないか。

答 健康福祉会館は、障がい者

持つ方々の社会参加を促進するための活動拠点として、多くの市民が広く利用している施設である。

視覚障がい者に対するバリアフリー対策として、平成24年度中に、牧の原団地バス停留所から健康福祉会館までの歩道に視覚障害者誘導用ブロックを整備し、停留所周辺の段差の解消を図りたいと考えている。秋ごろに工事に着手し、今年度末までの整備完了を目指している。

職員の 意識改革について

絆（無所属の会・みんな）
鈴木 大介

問 松戸市の指針となる経営理念、すなわち「ミッションステートメント」はあるのか。また、その価値観は全職員に共有されているのか。

答 ミッションステートメントとは、企業と従業員が共有すべ

き価値観や果たすべき社会的使命と認識している。地方自治法で規定されている組織のあり方と地方公務員法での職員のあり方は、基本的に同じであると考えている。

これを分かりやすく市民や職員に表現している標語が、市役所内に掲げている「市民のため」に役だつ人のいる所であり、このことは全職員が共有しているものと考えている。

庁内組織体制に ついて

市民クラブ
山口 栄作

問 12の戦略プロジェクトについて伺う。

答 戦略プロジェクトの設定過程において、122の実施計画事業のうち重要な事業を絞り込み、整理した結果、12の戦略プロジェクトになった。しかしな

がら、本市の財政は厳しい状況にあり、12の戦略プロジェクトを同時に進めることは難しい面もある。そこで、運用として市長・副市長への報告を定期的に行い、情報共有を図っている。また、戦略プロジェクトの組織体制の課題として、指示命令系統が複数生じやすいこと等がある。そのため、方向性の定まったプロジェクトを既存組織に組織化することなども検討している。

小学校の 運動会について

松政クラブ
平林 俊彦

問 新1年生のことを考慮し、秋に実施すべきと思うがどうか。

答 小学校の運動会については、秋実施から春実施に大きくシフトしている。主な原因は、熱中症予防であるが、慣れない学校生活をしている新1年生には、厳

しい状況にあるのも事実である。新指導要領は、教育課程の編成や実施についての創意工夫を求めており、本市では、日課表を中心に工夫改善を急速に進めている。こうした条件の変化は、運動会の実施時期等、年間行事計画の工夫改善につながっている。教育委員会では、このような状況を踏まえ、学校行事の再編成に当たり効果的な運用がなされるよう、各学校を支援していく。

不育症への 前向きな取り組みを

公明党
諸角 由美

問 不育症の検査と治療に対する市の考えは。また、啓発活動の今後と相談窓口の設置状況等について伺う。

答 平成24年1月より、へパリンの在宅注射が保険適応となった。しかし、検査・治療の一

部は、安全性や有効性の科学的根拠が検証されていない。今後、保険適用範囲の拡大などに注視し、情報提供を行っていく。不育症の啓発活動としては、市民健康相談室での情報提供やポスターの掲示を行っている。市民健康相談室は、母子健康手帳を交付する際に個別に支援ができる貴重な場であり、今後職員のスキルアップを図りながら、市民が安心して相談できるように役割を果たしていく。

金ケ作育苗圃の活用を

絆（無所属の会・みんな）
杉浦 誠一

問 金ケ作にある市営育苗圃の設立目的と現況。また、今後の活用と採算性について伺う。

答 市営育苗圃は、昭和49年3月に設置し、当初の主な目的は、市の木であるユーカリの栽培であった。徐々に緑化用樹木や公

共花壇用の草花の栽培に切り替えられ、現在は、ハーブ園や生垣見本園など、みどりの情報の発信源として親しまれている。

平成13年度に、財団法人松戸みどりと花の基金へ業務委託し、独自の事業も行っている。

みどりの愛護の啓発等を推進し、この場所で育った人たちが、地元で緑化活動を行うことは、みどり豊かなまちづくりに貢献し、投資以上の効果が期待できると考えている。

子ども医療費の年齢拡大と助成方法について

日本共産党
高木 健

問 市長は「通院1回入院1日自己負担200円、所得制限なしの松戸方式で年齢拡大を検討する」としたが、その状況は。また、小学校4年生から6年生までの医療費の助成も償還払いでなく現物給付とすべきでは。

答 平成24年12月から、千葉県の子ども医療費助成範囲が、入院に限り中学校3年生まで拡大される。この制度拡大に合わせ、松戸方式を堅持しつつ、より制度内容を充実させるべく検討を重ねている。また、現物給付については、課題である国保連合会のシステム環境の改善により、市独自の償還払い分についても対応が可能になると県より説明を受けた。今後は、県の動向を踏まえ、検討を進めていきたい。

小・中学校連携による教育を

公明党
矢部 愛子

問 いわゆる「中1ギャップ」解消の一環として小・中学校の連携が有効とされている。本市では、小学校5年生からの「5年間英語」を導入しているが、小中連携による特徴ある教育について伺う。

答 現在は英語分野が中心だが、すべての職員がかかわる日本語分野においても、連携を進めていきたいと考える。第五中学校区では、日本語分野の枠組みが形となり始め、相互の授業参観、9年間を見通した推薦図書、部活動の合同練習などに取り組んでいる。教育委員会としては、このような動きを支援していくことが重要であると認識している。そして、この取り組みを全国へ発信できればと考えている。

障がい者の就労支援について

公明党
渡辺 美喜子

問 障がい者が働く施設から優先的に商品購入を行う等の、安定した仕事の受給ができる体制づくりにより、どのように関わっているか。

答 市内の障がい者施設で生産された物品を、共同販売するた

めの協議会が組織されている。この協議会に、市役所1階通路を販売スペースとして提供し、施設の作品展示即売会を毎月4日間実施している。今後の取り組みは、市民や企業への働きかけとして、広報まつどの活用、企業・商工会議所等に発注や購入の協力依頼等を行っていきたい。また、本市の障がい者施設への発注の拡大については、関係部課と連携しながら、全庁的な取り組みに努めていく。

JR新八柱駅のバリアフリー化について

絆（無所属の会・みんな）
川井 清晶

問 新八柱駅のバリアフリー化工事完了までの、利用者に対する安全対策を伺う。

答 この駅の工事は、平成24年7月から支障物移転工事に着手する見込みである。5カ年を要する大規模な駅舎の改修であり、

安全対応が心配されることから、JR東日本に申し入れを行った。車いすの利用者からの通常の事前連絡による対応だけでなく、ベビーカーの利用者や高齢者の方々にも、出来る限り安全対策の徹底を行うとの回答をいただいた。また、国土交通省のモデル事業では、駅や駅周辺で、バリアフリーボランティアを実施したケースもあるようだが、導入事例を調査し、さまざまな方策を研究していく。

既設集会所の用地購入に対する補助の検討を

日本共産党
宇津野 史行

問 借地契約により建てられた集会所は、地権者の代替わりにより土地の返却を求められる可能性があると聞く。用地の購入についても、補助ができないか。

答 集会所支援事業は、住民自治の振興を図る目的で町会・自

治会が新築や改修にかかる経費の一部を補助するものである。土地に対する補助は、将来的にその土地が集会所以外に用いられることも考えられるため、現在、補助対象にはなっていない。しかし、町会・自治会が認可地縁団体として法人格を有することができれば、土地を含めた補助についても実施できる可能性があると考える。今後は、他の市の事例を調査し、研究をしていく考えである。

オープンフォレスト in 松戸について

松政クラブ
張替 勝雄

問 「オープンフォレスト in 松戸」について、開催の経緯等と今後の課題について伺う。

答 「オープンフォレスト in 松戸」は、5月12日から9日間、個人が所有する民有樹林などを、市民に公開したものである。

多数の民有樹林を公開するイベントは過去に例がなく、2400人を超える参加者があった。運営は市民ボランティアが中心となり、運営費については、市民や企業からの協賛金で賄った。参加者と一緒に都市樹林の保全を考える良い機会となり、多くの市民に森を育てる活動を知っていただくことができた。今後も、市民との協働による緑を守り育てる活動を推進し、支援していきたい。

エリアマネジメント 広告について

市民力
原 裕二

問 市の財源確保という意味からも、地域のまちづくりの担い手が、行政から許可を得て、公道等上に広告スペースを設置し、企業等から独自に広告収入を得ることで、地域の活動財源にするというマネジメント広告の考

え方を導入してはどうか。
答 エリアマネジメント広告の考え方を踏まえ、平成20年に国土交通省から、地域のまちづくり団体等が行う道路環境の向上や活性化活動に対して、その費用の一部に広告料を充当する場合は、広告物の道路占用を可能にするとの通達があった。遅まきながら本市でも、今年度発足した「広告事業推進ワーキングチーム」で、考え方や指針、課題を整理し検討していきたい。

災害時の避難所の機能強化は

民主・市民クラブ
一階堂 剛

問 地域住民の避難場所に指定されている公立学校の避難所機能については、指定場所と防災機能の実態が整合していないことが、国の研究機関の調査から明らかになった。本市における避難所機能の整備状況は。

答 市の避難所に指定している小・中学校は68校である。設備毎の設置状況は、分散備蓄倉庫に収納している発動発電機が25校で36.8%、耐震性貯水槽等が9校で13.2%、暖房設備と通信機器は全てに整備されている。しかし、プライバシー確保について、対策ができていないのが実情である。今後は、プライバシー確保のための資器材など、避難所に適したものを選定していきたいと考えている。

公園整備について

日本共産党

高橋 妙子

問 地域コミュニティの場として「公園にトイレを設置してほしい」との声がある。そこで、水洗トイレの設置状況と計画、設置までの衛生面での対策を伺う。

答 現在、公園の水洗トイレは、

下水道の供用開始区域で、比較的面積の大きい公園を対象に設置を進めており、進捗率は約48%である。地域からの要望は10件程あり、順次設置しているが、多機能トイレの設置が義務付けられているため、高額の費用が掛かることから、年に一カ所の計画となっている。水洗トイレが設置されるまでの衛生対策は、公園での排泄行為を防ぐために、見通しの改善や注意看板の設置を行う。

市政協力委員制度について

市民力

谷口 薫

問 市政協力委員制度の現状の課題と、今後、どのように見直しを進めていくのかについて伺う。

答 町会・自治会と市のパートナーシップの課題を整理するため、「町会・自治会と市のパー

トナーシップ検討委員会」が設置された。今年度は、町会・自治会の活動および市とのパートナーシップ、特に市政協力委員制度の検証を行う。第一回の検討委員会では、市政協力委員と町会との関係、町会・自治会の現状や課題など、整理の必要性についての認識を共有した。今後は、現状・実情を共有した後に、問題の抽出と課題の整理を行っていくこととしている。

クリーンセンターの焼却灰の保管について

日本共産党

伊藤 余一郎

問 市民の放射能への不安は大きい。安全対策は万全か。

答 放射線の測定は、敷地境界の東西南北4カ所、地上1メートルの高さで週に1回測定し、ホームページに公表している。隣地の公園についても、公園内

27カ所、地上50センチメートルの高さで月に2回測定している。測定結果から、保管している飛灰による影響は無いと判断しているが、より安全安心に公園を利用していただくため、園内の一部を仕切り、立ち入り制限を行っている。今後も、定期的な放射線測定のモニタリングや焼却灰の安全な保管と管理を行うことで、周辺環境に支障が生じないよう努めていきたい。

地域防犯活動への更なる整備を

絆（無所属の会・みんな）

大橋 博

問 防犯協会や警防ネットワークの更なる整備の検討と、今後の計画を伺う。

答 防犯指導員や防犯ボランティアは、地域の安全を守るために、大変重要な役割を果たしていること認識している。

地域の防犯活動に対する支援として、各地区の交番管内防犯協会に、松戸市防犯協会連合会を通じて、5万円の補助を行っている。また、防犯活動用品を貸与し、啓発物資の交付を行うとともに、青パト（青色回転灯装備車）の燃料費を補助している。今後、さらに効果的な支援方法について、松戸市防犯協会連合会と協議を進めていく考えである。

地域包括支援センターについて

市民クラブ

岩堀 研嗣

問 少子高齢社会を支える、地域包括ケアシステムの構築が急務である。その要となる地域包括支援センターの本来機能である、多職種連携によるネットワークづくりと、人材育成という行政の役割について伺う。

答 多職種連携によるネットワーク構築を地域包括支援センターの重要な機能として位置付け、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティアの活動など、社会的資源を含めた連携を深める考えである。行政の役割は、センターが機能を十分に発揮できるように体制整備を図ることである。また、職員研修や連絡会、日常の相談業務などを通して、職員のスキルアップを図っていくことも重要と考える。

公教育のあり方について

市民クラブ

末松 裕人

問 地域で子どもを育てるためにも、小・中学校における公教育は市民から信頼されるものでなくてはならない。市長として、教育委員会との現状認識や課題を共有し、より良い教育環境の整備に取り組むべきではないか。

答 平成24年度の施政方針で「子育て・教育・文化を柱とした都市ブランドづくり」は、「安全・安心のまちづくり」と並ぶ2本柱の一つである。教育施策の重要性を認識し、方向性を実現するため、23年4月、教育委員会内に「確かな学力と豊かな人間性を育む教育推進プロジェクト」を設置した。教育委員会とより深く連携し、教育を向け、支援していきたい。

松戸市制70周年に向けて

市民力

海老原 弘

問 市制70周年記念を松戸ブランド向上のためにと位置付け、インパクトのある開催を願うが、考えを伺う。

答 松戸市は、平成25年度に市制施行70周年を迎える。現在、市民と一緒に祝いできるイベ

ントの実施に向けて協議を進めている。今後は、実行委員会の設置も含めて、市民参画の方法も検討していきたい。また、来年度は、21世紀の森と広場も開設20周年を迎える年であるため、70周年記念事業と合わせた事業も検討している。本市の魅力や可能性を高め、「元気なまちづくり」を目指して、多くの市民と一緒に祝いできる事業を考えている。

市の人事行政とその財政等に与える影響について

市民力

山中 啓之

問 国家公務員を100とした際の給与水準を表す「ラスパイレシ指数」が、松戸市は104・5と政令指定都市を除くと県内1位である。現状の問題点や対策を伺う。

パイレシ指数は、県内1位の水準となり、24年4月より是正を行っているところである。現行の給与における一番の問題点は、管理職の割合が高いということである。平成12年度の機構改革による本部制や14年度に担当室制を導入した結果、担当室長等が増えている。管理職の抑制については、組織の見直しと連携しながら是正していきたい。

市立病院について

松政クラブ

小沢 暁民

問 市立病院医師の盗撮事件について、開設者である市長はどのように考えるか。

答 今回の事件は絶対にあってはならない行為である。市民の皆様は大変不安な思いやご心配をおかけしており、信

頼を損なう結果になったことは市長として誠に遺憾であり、強い憤りを禁じ得ない。患者の皆様、市民の皆様から信頼回復を得られるよう、医療スタッフに対する教育およびサービスの向上等を、あらためて病院に対して、厳命したところである。今後も市民の皆様との更なる信頼関係の構築に努めていくので、ご理解とご協力をお願いしたい。

9月定例会の開催予定

平成24年松戸市議会9月定例会は、9月4日(火)から10月1日(月)まで開催される予定です。請願・陳情は8月24日(金)正午までに提出してください。

10月	9月	期日	主な内容
1日(月)	4日(火)	招集日・本会議	(議案の提案理由説明)
5日(木)	5日(水)	本会議	(一般質問)
6日(金)	6日(木)	本会議	(一般質問)
7日(土)	7日(金)	本会議	(一般質問)
10日(月)	10日(火)	本会議	(一般質問)
11日(火)	11日(水)	本会議	(一般質問)
13日(木)	13日(金)	本会議	(一般質問)
14日(金)	14日(土)	本会議	(一般質問)
18日(火)	18日(水)	本会議	(一般質問)
19日(水)	19日(木)	本会議	(一般質問)
20日(木)	20日(金)	本会議	(一般質問)
21日(金)	21日(土)	本会議	(一般質問)
24日(月)	24日(火)	本会議	(一般質問)
25日(火)	25日(水)	本会議	(一般質問)

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらっしやいませんか。

議会を傍聴するには

- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を行います。
- (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
- (3) 係員が傍聴席のご案内します。
- (4) 車椅子等でお越しの方は、係員にお申し出ください。

問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

松戸市議会ホームページ
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai.html>

松戸市議会

検索



本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継はこちら」からご覧いただけます。

ライブ放映は、本会議開始直前から終了まで議場の様子を放映します。

過去の議会議中継は、会議の翌日夜からの公開となります。

また、「松戸市議会会議録検索システム」より、過去の会議録も公開しておりますので、どうぞご利用ください。

本会議のインターネット放映 インターネット放映アクセス件数
(平成17年6月開設から23年6月末まで)
27万3,411件

会派別一覧

公明党	議員数	松政クラブ	議員数	市民クラブ	議員数
渡辺美喜子	10	桜井秀三	8	中川英孝	8
城所正美		杉山由祥		山口栄作	
高橋伸之一		石井勇		渋谷剛士	
伊東英公		木村みね子		市川恵一	
飯箸正幸		張替勝雄		岩堀研嗣	
織原正龍		田居照康		大井知敏	
石川龍由美		平林俊彦		深山能一	
諸角愛子		小沢暁民		末松裕人	
矢部誠					
山沢誠					
日本共産党	議員数	絆(無所属の会・みんな)	議員数	市民力	議員数
宇津野史行	5	杉浦誠一	5	山中啓之	4
伊藤余一郎		大橋博		谷口薫	
山口正子		こひら由紀		原裕二	
高木健子		川井清晶		海老原弘	
高橋妙子		鈴木大介			
民主・社民クラブ	議員数	無所属	議員数		
二階堂剛	3	中田京	1		
安藤淳子					
関根ジロー					

議員数 合計 44人

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職25年以上の方が特別表彰の荣誉にそれぞれ浴されました。

特別表彰

伊藤 余一郎 議員

同 二階堂 剛 議員

政務調査費を公開中

平成23年度政務調査費の収支報告書をまつど市議会のホームページに掲載しています。各議員の収支報告書の詳細については、議会事務局で閲覧することができます。

問い合わせ先

市議会事務局庶務課

TEL 047(366)7381

声の議会だよりを
ご利用ください

松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしています。詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター
(ふれあい22内)

TEL 047(383)7111
住所 松戸市五香西3-7-1

編集の窓

暑中お見舞い申し上げます。現在、本市議会では議会運営委員会、議会活性化委員会、広報委員会のそれぞれの委員会において、テーマ別にさまざまな議会改革に取り組みんでいます。

私たち広報委員会では、今号の議会だよりから、紙面を4ページ増やして内容を充実し、リニューアルしてお届けしています。

特に定例会の審議結果(2面に掲載)の一部については、より多くの皆様に分かりやすくお読みいただくため、会派単位で賛否の態度が分かるように掲載しました。今まで以上に、市民の皆様が議会の様子にダイレクトに伝わるようになれば幸いです。

これからも引き続き、より市民の皆様が市議会への関心をもっていただけますよう、親しみやすく、分かりやすい紙面づくりと、情報公開の充実に取り組みまいりますので、皆様もお気づきの点がございましたらお気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

議員の寄附行為の禁止

政治家(後援団体)が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、皆さんが政治家に寄附を求めるとも禁止されています。

たとえば・・・

- お祭りや運動会など、地域の行事への寄附や差し入れ(催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合を除く。)
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状(答礼のための自筆は除く。)

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものの案内をする場合には、会費を必ず明示して通知してください。



次回発行予定は
11月1日(木)です。